

『静かなるホイッスル』 柴谷晋、新潮社、2006年

おやさと研究所研究員
難波 真理 Mari Namba

『静かなるホイッスル』聞こえないラグーマン達の実話である。実はデフラグビーと天理の繋がりは非常に深い。デフラグビーチームは過去に天理で数回の合宿を行っている。また、2005年にイギリスへ遠征をした時の日本代表チームヘッドコーチは天理出身の奥野義房氏である。この文章を読んでいる方の中には、デフラグビーを実際に見たことがある方がおられるのではないだろうか。

私は障害者スポーツ関係の研究をしており、デフラグビーは筑波技術大学という聴覚、視覚に障害を持つ人のための日本で唯一の大学におられる先生に紹介をしていただいた。初めは、スポーツの中でも特にコミュニケーションが必要となるラグビーでどうやってプレーするのだろうかという興味を持った。本書に登場する柴谷氏、小中氏らと話すうちに、なるほど、と思えた。それはスポーツを指導する全ての人々にとって非常に参考になるはずである。

また、本書は世の中には障害を持った方々に対して目には見えない多くの障害があることを知るための手がかりとなる内容が多く含まれている。ラグビーというスポーツを通して、障害について堅苦しくなく理解でき、読み終えた後には爽快さも残るすばらしい1冊である。

本書の中で心に残った言葉の一つを紹介する。「Rugby opens many doors」「ラグビーは人生の多くの扉を開いてくれる」という意味である。ラグビーで“世界の坂田”といわれた坂田好弘氏がオーストラリアの友人から教えてもらった言葉で、全国交流会の中で選手達に話した言葉。聞こえない選手達がラグビーによって新しい世界が開けたように健聴者の吉識氏も会議室のドアを間違えたのがきっかけといえ、新しい世界が広がった。かくいう私もラグビーによって新しい世界の扉を開いてもらった一人である。

以下に著者である柴谷晋氏からのコメントを紹介する。

「浮かせ!」「飛ばせ!」「まわせ!」

いずれもボールを持つ味方への声である。ディフェンスなら「流せ!」「詰めろ!」「サイド、見ろ!」などなど、フィールド上ではさまざまな声が響いている。

ラグビーではボールは前に投げられない。したがって、味方はいつも後ろにいる。その一方、タックルをしにかけてくる敵は前にいる。後ろを振り返っているヒマはない。そこで、常に「声」でコミュニケーションを取ることが重要となる。

しかし、その声が届かない状況でもフィールドに立ち続けるラグーマンたちがいる。「デフラグビー」の選手たちである。「デフ」(deaf)とは英語で「聞こえない」「聞こえにくい」の意味。今から20年ほど前にニュージーランドで始まった、この聾者・難聴者のラグビーを、一人の日本人カメラマンが取材。ラグビー専門誌に「音のない世界の肉弾戦」として記事を掲載し、日本でもチーム結成を呼びかけたところ、「聞こえなくてもラグビーがやりたい」あるいは「サポートしたい」という男女が集まった。

私自身もその一人。大学時代に突発性難聴により軽度難聴となり、大学卒業後、会社員をしていたところ、たまたま「デフラグビー日本代表選手募集」の知らせを目にする。一度は離れたラグビーの世界に戻り、手話を覚え、2002年には桜のジャージーとともに世界大会に参戦。

2005年には高校ラグビーの聖地「花園」にデフラグーマンが立つ。東海大翔洋(当時)のスクラムハーフ、倉津圭太選手。彼の活躍と、デフラグビーの軌跡を描いたのが、本書「静かなるホイッスル」である。

倉津選手はその後、日本福祉大学へと進学。体育会ラグビー部でプレイを続け、昨年はニュージーランド留学も果たす。現地では地元クラブとデフクラブ双方で活躍。毎年開催されるデフ三地域対抗戦では、MVPを獲得した。

倉津選手には大きな目標がある。それはデフラグビー日本代表となり、国際試合で勝つこと。2011年、デフラグビー・パシフィック選手権がフィジーにて開催される。ニュージーランド、オーストラリア、フィジーが参加するこの大会に、彼はキャプテンとしてチームを率いることになるだろう。

2010年5月、パシフィック大会に向けた合宿が始まる。選手たちの背景はさまざま。生まれつき聞こえない者、大人になってから失聴した者、手話で暮らす聾者、補聴器があれば聞こえる難聴者、ラグビー初心者からトップレベル経験者まで。

彼らの中に「静かなるホイッスル」が、再び響き渡ろうとしている。



柴谷晋 プロフィール

1975年茨城県生まれ。茗溪学園高校時代に「花園」(全国高校ラグビー大会)に出場。高校日本代表候補に。上智大学外国語学部フランス語学科進学後、フランスに留学。ラグビーでは同国随一の名門クラブ、スタッド・トゥールーズに1年間所属。帰国直前、突発性難聴により軽度難聴となる。広告代理店勤務等を経て、ライターとして独立。デフラグビーには2001年より参加。デフ日本代表として世界大会にも出場している。デフラグビーでは、2011年フィジー遠征に向け、選手を募集中。

デフラグビー・パシフィック選手権

参加資格

- ・両耳平均聴力 25 デシベル以上 (軽度難聴レベル)
- ・片耳難聴の方も OK
- ・18 歳以上

※高校生の公式戦出場は不可ですが、合宿参加は大歓迎。なお来年卒業予定の高校3年生であれば、来年の大会は参加可能です。

- ・イギリス手話ができること
- ※各国選手や、聾者、難聴者との円滑なコミュニケーションのため。ただし、合宿参加時に手話ができなくても OK。遠征まで一緒に学びましょう。

お問合せは allquiettyphoon@freeml.com まで

デフラグビーの詳細に関して

日本聴覚障害者ラグビー連盟ウェブサイト

<http://www.deafrugbyjapan.com/>

デフラグビー写真博物館

<http://deaf-rugby-photo.sakura.ne.jp/>

柴谷晋ブログ「それいけ! デフラグビー」

<http://hochoker.blog.ocn.ne.jp/susu/>